

放課後等デイサービス やまっこクラブ 令和4年3月作成

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動や目的によって部屋や人数を分け、安全に活動が行えるようスペースを確保している。また、仕切りや目印を使う等して、誰がどのスペースで活動するのかを分かりやすくしている。
2	職員の配置数は適切であるか	○			基準上必要な職員数に加え、個別対応での支援が必要な場合に備えて、適切な支援が行える職員数を配置している。また、人員が少ない時間帯(送迎時等)の状況に合わせて、事前に活動の内容を考えている。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段に手すりがないため、滑り止めマットを貼り、安全に昇降できるよう使用時には見守る等の配慮をしている。また、段差や角にはクッションボールを設置する事で事故を未然に防げるよう安全配慮に努めている。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務改善会議・支援会議等の場を設ける事で、より多くの職員が意識的に仕事ができる環境作りに努めている。事業計画会議では、振り返りと目標設定を行っている。各職員が参画し易いように、個別面談の機会も設けている。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートの結果を踏まえた会議の場を設け、保護者様の意向等を職員間で共有している。また、改善すべき点は具体的な改善目標を立て、改善に努めている。
6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年アンケート結果を取りまとめたものを保護者様に配布し、同時にHPでの公表も行っている。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、外部評価は行っていないが、相談支援専門員や他事業所の意見を聞き、業務改善に繋げている。今後は外部評価の実施に向けて検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員のスキルに応じた研修計画を作成し研修に参加している。コロナウイルス感染症の影響で外部の研修にあまり参加できなかったが、オンラインでの研修に参加した。また、定期的に内部研修の機会を設けて実施している。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にケース会議を行い、情報を収集している。また、個別に保護者面談を行う事でご家族や本人のニーズを再度把握し、その上で放課後等デイサービス計画を作成している。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者様の同意の下、事業所で太田ステージの評価をさせて頂き、その結果を参考に支援の方向性を職員間で考えている。また、外部で受けた発達検査も参考にさせて頂いている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			運動遊び・自立活動・チャレンジタイム等をそれぞれの職員が担当別に活動内容を考え、職員間で話し合い、内容をすり合わせてプログラムを決定している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日替わりで内容を変更するものや期間を決めて取り組むもの等、活動時間や個々のスキルにより変えている。支援計画を基に活動のねらいや内容を考えている。また、その日の利用人数や個々の心身の状態に配慮し、調整している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は主にチャレンジタイムと運動遊び・自立活動を行い、休日・長期休暇では運動遊び・自立活動に加えて自然学習や公園遊び等を行っている。また、季節に合わせたイベントや、家庭では経験する事が難しい体験活動等も積極的に取り入れている。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々の課題に合わせて個別活動・集団活動を設定している。職員間で話し合い、個別での課題、集団での課題を検討し、放課後等デイサービス計画を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼・昼礼の際にその日の送迎・活動内容・支援内容の確認、また各職員のそれぞれの役割や留意点の確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		終礼で話し合い、必要事項を記録している。終礼に参加できない人も含め、翌日の朝礼・昼礼でも話す時間を作っている。「申し送りノート」を活用する事により、全体で周知できる体制を整えている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	保護者様との連絡帳にてその日の体調や様子等を記録しやりとりしている。また、終礼時の話し合いの際に、支援内容や様子での“気づき”に関して個別に記録している。申し送りノートにて重要事項を共有している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングの結果、日々の様子、ケース会議の結果を保護者様と面談した際に報告して見直しの必要性を判断している。また、相談支援員や学校と連携してモニタリング会議を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		創作活動の面では、自然学習で五感を使ったり表現力を高めたりする事で、感性が豊かになる活動を行っている。地域交流の機会の提供の面では、今年度はコロナウイルス感染症の影響で地域のイベントには参加できていない。コロナウイルス感染症での制限が緩和された際には、イベントに参加する予定。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		日々の様子や状態、支援の経過等を職員間で共有した上で、児童発達支援管理責任者が参加している。会議後は議事録を残し、職員間で共有している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校から下校時刻の分かる予定表をもらったり、急な変更があった際には事業所に連絡してもらえるよう連絡体制を整えたりして、密に連携を取っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、利用の実績はない。受け入れる際には主治医との連絡体制を整える。
23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所などとの間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要がある際には保護者様に同意を得た上で、通っていた保育園や療育支援を受けていた施設へ連絡を取り、情報を共有する事としている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか		○	卒業生がいないため実績はないが、今後卒業生が出る際には保護者様に同意を得た上で、情報提供を行う。また、別の事業所を利用する際には情報を共有できるよう整備している。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○		コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き今年度も県の発達障害総合支援センターの主催する研修動画を視聴する等、オンラインで研修に参加した。今後も積極的に研修へ参加し、専門機関と連携して支援の資質向上に努めていきたい。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	感染症対策をした上で、児童館や公園・公共施設等で密にならない程度に関わって遊べるよう努めている。児童館でのイベントが再開すれば参加する予定。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	昨年度同様、コロナウイルス感染症の影響で会議自体は中止となってしまうが、協議会へアンケート協力をする事で、取りまとめた情報を共有する事ができた。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳、在宅支援の電話等にて活動の様子や気になる事を伝えて情報を共有している。また、面談の際に目標を確認し情報を共有している。

29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			事業所で行った支援で家庭で応用できそうな事は共有するために詳しく伝えている。また、保護者向けの外部研修の紹介等を通して対応力向上を図る機会の情報提供を行っている。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規定や重要事項、利用者負担等の詳細な説明を行っている。変更があった際には書面及び口頭で伝えている。支援の内容については、個別支援計画書の見直しのための面談時や日々の送迎時・電話等で伝えている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話、面談等で相談された内容は可能な範囲でアドバイスさせて頂き、職員間で共有している。また、必要に応じて綿密に会議を行う事で支援に繋げている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は行っていない。コロナウイルス感染症での制限が緩和された際には、やり方や必要性を考え慎重に検討していきたい。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情に関する連絡体制を説明している。また、苦情があった際には適切に対応できるよう体制を整えている。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度発行している「やまっこだより」で活動の様子や翌月の予定を発信している。
35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には鍵付きの書庫に保管し、写真の使用に関しては契約の際に保護者様の同意を得ている。また、個人情報が必要な会議等に関しては、その都度保護者様に確認して使用している。
36	障害のある子どもや保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人一人に合ったコミュニケーションの取り方をするよう努めている。保護者とは送迎時や連絡帳、電話、面談等で情報の共有をする事で、話しやすい環境作りを努めている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待する行事は行っていないが、事業所の前に設置した掲示板に施設リーフレットや「やまっこだより」を掲示する事で、地域に開かれた事業運営を行っている。コロナウイルス感染症での制限が緩和された際には、やり方や必要性を考え慎重に検討していきたい。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、契約時に保護者様に伝えている。また、常に同じ場所で保管し、職員や保護者様が閲覧できるようにしている。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年2回実施している。また、定期的に防犯訓練や消火器の使い方、通報の仕方の確認を職員間で行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止研修を受講している。また、それぞれの職員が研修報告書を作成する事で、より理解を深められるようにしている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の同意書を個々の様子によってそれぞれ作成し、保護者様に同意を頂いている。また、やむを得ず身体拘束を行った場合には管理者に報告し、保護者様に対して身体拘束の状況等を報告する事を義務付けている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて保護者様と連携を取り、食べ物は持参した物を提供するか、事前に確認した物を提供する等の対応を行っている。また、職員間で情報を共有し取り扱いが徹底できるようにしている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月「ヒヤリハット週間」を設け、“気づき”を意識できるようにしている。提出されたヒヤリハット報告に関しては会議を行い、状況を確認し改善点等を話し合っている。報告書は職員間で共有できるよう体制を整えている。

—